『人生の心構え』 ~ 『もしかすると この時のためかもしれない』~

2025年6月15日 筆者が『21世紀のエステル会顧問』を仰せつかている『21世紀のエステル会』代表 金田佐久子牧師(川口がん哲学カフェいずみ代表)から【昨日は、『川口がん哲学カフェいずみ』があり、77回を数えました。 今回のエステル会ニュースレターに、樋野先生の『人生の心構え』が紹介されていましたのでハガキカードを作り、昨日のカフェの参加者にプレゼントしました(画像)。 高齢者が多いため、70歳代以降の言葉が入っていて、喜ばれました。『今度、樋野先生がいらしてくださったとき、それぞれ年代ごとの言葉を詳しく説明してほしい』という要望もありました。

2022 年 1 月の 5 周年講演会のときに、『人生の心構え』のハガキカードを参加者にプレゼントしました。 昨日、その講演会以来、久しぶりに『いずみカフェ』に参加してくださった女性の方は、カードを職場の机に見えるように置いている、と言ってくださいました。 バージョンアップした今回のハガキカード(画像)を『これも職場の机に入れます』と言ってくださり、励まされました。新しいカードを渡す日にちょうど来られるとは、何というタイミングでしょう!

初参加の男性の方は、樋野先生の『がん哲学へようこそ』(画像)をお読みになったそうです。---- 樋野先生の言葉の処方箋に力をいただいてる人が、いずみカフェにも、何人もおります。感謝申し上げます。』との励ましのメールが届いた。

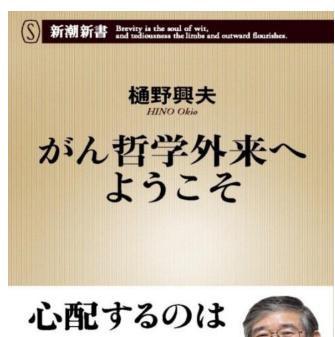
21 世紀のエステル会の理念は【私たちはいつか病気になり、老いを迎え、やがて死に向き合う時が来ます。それを絶望の時と呼ぶ人は多いでしょう。 けれども、人は病気(がん)になっても、『病人』になるのではありません。 健康な時には気づかない大事な使命があるのです。人は必ず人生から期待されていることがあるはず。『もしかすると この時のためであるかもしれない。』 (エステル記4章14節) 】と謳われている。

6月16日は、息子の友人(Surai Shin 君; 画像) のお父様のタイレストラン『マライ・ガイヤーン』 (大泉学園駅) で、wife と息子夫妻と夕食の時を持つ。

樋野興夫先生の「人生の心構え」

- ◎ 0歳から 10歳
- " 愛情豊かな動物&老人に育てられた子供は大成する"
- ◎ 20歳代&30歳代
- "人に言われたことを黙々とがむしゃらにやる"
- ◎ 40歳代
- "自分のやりたいことや好きなことに専念する"
- ◎ 50歳代
- "積極的に周りの人の面倒をみる"
- ◎ 60歳代
- "自分のことしか考えていなかったら恥と思え"
- ◎ 70歳代
- "自分のことを語る"
- ◎ 80歳代
- "自分の人生をプレゼントする"
- ◎ 90歳代
- "天寿を全うする"
- ◎ 100歳
- " 天国でカフェを開く"

2025年6月14日 川口がん哲学カフェいずみ







Surai Shin 殿

貴殿は以下の診断基準を満たした ため、ここに認定いたします。

- 一、暇げな風貌
- 二、偉大なるお節介
- 三、速効性と英断

平成25年1月3日

樋野KANZO俱楽部

新渡戸稲造学校

